

未来へ(東中だより)

第19号 令和5年2月9日

吉野ヶ里町立東脊振中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標 未来へ
「知性・感性・耐性」を
共に高める生徒の育成



TEL:0952-52-2529 Fax:52-8184

<https://www.education.saga.jp/hp/higashisefuri-j/>

立志の心 たくましく 2月2日 2年生立志式

2月に入ったかと思ったら、あっという間に1週間以上が過ぎてしまいました。3年生は私立高校の後期入試や県立高校の特別選抜が終わりました。新たな旅立ちに一步ずつ近づいています。

2年生は、春の暖かな日差しの中で、「立志式」を迎えることができました。今年は1年生も見学参加での開催ができました。1年生にとっても良い経験になったと思います。

式の中で伊東健吾町長様からは、「将来の目的を定め、大人として自立していくときであり、無限の可能性に挑戦してほしい」と励ましの言葉と、自ら揮毫された素晴らしい「夢」の書を頂きました。

古賀敏正教育長様は、「立志式とは、大人の自覚を促す日本の教育文化である」と語られ、元服用の冠と烏帽子をご披露くださいました。教育長様の自作だということで、大変驚きました。53年前に本校を卒業された先輩として、「節分は季節の変わり目ですが、今年のこの節分は、心の大きな変わり目とすべし」とお祝いの言葉を頂きました。

学校長の式辞では、以下のような内容の話をしました。(一部抜粋)

「本日は、それぞれが自分の目標達成のための座右の銘を示すと聞いています。己の生きる指針としての座右の銘をもつこと、それは大変重要なことです。大海に出る船に羅針盤やGPSが必要であることと同様に、人間には指針となる言葉が必要です。言葉は文化であり知性であり、人生の心張り棒となります。今日示すそれぞれの言葉を、大切にしてくれることを望みます。

幕末の思想家、吉田松陰は、夢や目標の大切さについてこう述べています。『夢なきものに理想なし。理想なきものに計画なし。計画なきものに実行なし。実行なき者に成功なし。ゆえに、夢なきものに成功なし。』

吉田松陰の使った『夢』という言葉は、『志』のレベルです。『志』には、自分だけいい思いをすればいいという意味は含まれません。結果的にそれが、周りの人や社会によいことをもたらすことが前提です。しかし大丈夫です。皆さんの持つ夢や目標を達成すれば、大概の場合、周りの人を幸せにし、世の中のためになります。信念をもって突き進んでほしいと思います。

掌に『口』という字を書いてください。そしてその横にプラスを書いてみましょう。『叶う』という漢字になります。目標を叶えるためには、口からプラスの言葉を出していきましょう。『できる』『うまくいく』『乗り越えられる』、そういう言葉が、必ず良い結果を導きます。

どうぞ目標にかかわる振り返りを忘れず、時には設定しなおして、プラス思考で、洋々たる前途に向かってください。」

<表彰 おめでとう> (敬称略)

○新年書き方会地区審査

毛筆入選 小池侃央 福田姫愛 今泉優杏 中島菜奈
向井友梨奈 吉村彩芭 米倉加純 嘉村媛
中山靖詞 野中綾乃 原優佳 田中健太郎

毛筆特選 池田和香

硬筆入選 野中菜生 陣ノ内すみれ 大園樹璃
小西奏太 藤井結菜

硬筆特選 徳安那南 森山夏帆 山口実希

○佐賀県中学校デッサン大会 入選 久野双葉



プログラミング学習

2月6日、2年生を対象に講師を招いてのプログラミング学習を行いました。講師は町内に進出して2年目のタイムカプセル社の相澤謙一郎社長でした。

ニンテンドーDS に載せたアプリ開発ソフトを用いて、簡単な数字や英語を打ち込むと、計算ができた文字が音声に変換されたりすることが実際に体験できました。スーパーマリオやインベーダーゲームを例に挙げて、わかりやすく説明され、ゲームクリエイターと呼ばれる仕事の一部を見ることができました。

一生懸命取り組む生徒のキラキラした瞳が、印象的な2時間でした。

